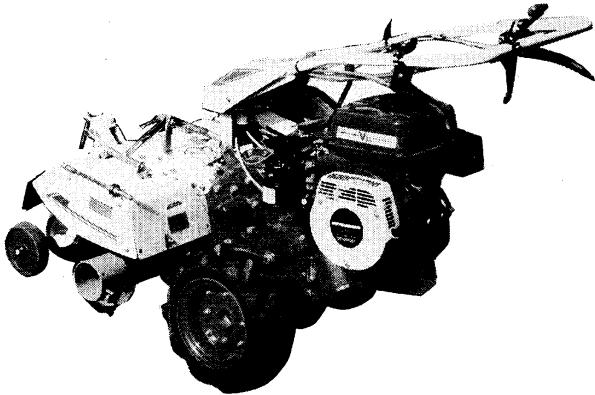


マメトラスーパー・リターン

SRV35V・SRV4V

使用説明書



マメトラ農機株式会社

ごあいさつ

この度は、数ある機械の中からスーパー・リターンを御買上げ頂き誠にありがとうございます。

本機は小型耕耘機の専門メーカーとして長い歴史を持つ当社が、果樹園・桑園の中耕除草から草生栽培地・雑草退治のハシマ作業・耕耘作業・ハウス内の床作り・畝間作業とアタッチメントを替えることにより、それぞれの作業に御満足頂ける様に設計され、最新の設備と材質によって作り上げた万能機です。

強馬力でしかも御婦人の方でも手軽に使って、今までない数々の特長のある作業と安定性は皆様の御満足を頂けるものと確信致しております。

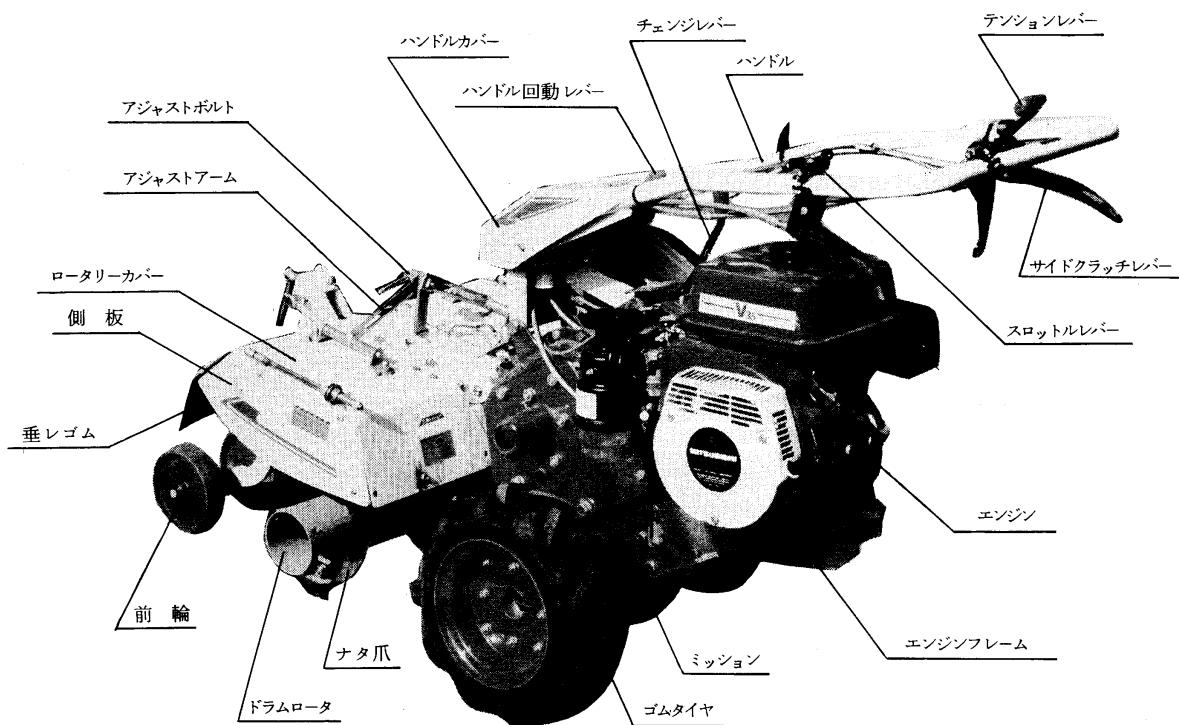
お買上げいただいたスーパー・リターンを能率よく上手にお使いになり、長く寿命を保持していただくために御使用前にこの説明書をお読み頂いて正しい使用と手入れをして頂く様お願い致します。

また、当社では本機・作業機とも引き続き不断の研究を重ね、一層性能良く作業をして頂く様努力しております。従って一部改造することもあり、本説明書と多少の差異が生ずる場合もありますので、あらかじめ御承知下さる様お願い申し上げます。

安全な作業をするためには

- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由で正常な運転ができないと思われる場合は機械作業に従事しないで下さい。
- 適正な帽子や作業衣を使用し、衣服の一部や頭髪・手拭等が巻き込まれない様にして下さい。
- 作業前には常に正常な機能が発揮できるように各部の点検整備をし、作業後にも次の作業のために点検整備を実施して下さい。
- 機械の点検整備や草の巻付を除去する作業等は、必ずエンジンを止めてから行って下さい。
- 作業機の着脱はできるだけ平坦な場所で行なって下さい。
- エンジンを始動させる場合は必ずクラッチを切ってから行なって下さい。
- 燃料を給油する場合はエンジンを停止し、火気は厳禁のこと。（くわえタバコでの給油は絶対にやめて下さい。）
- 作業中は作業関係者以外の者に機械に近寄らせないで下さい。特に子供には注意が必要です。
- 作業中は機械の周囲に注意し、安全を確認して下さい。特にバック作業時には足元の注意が必要です。
- ハウス内の作業や屋内での点検整備では排気ガスがたまり易いので換気には十分な配慮が必要です。
- エンジンのマフラーは非常に高温になりますので絶対に触れないで下さい。機械におおいをかける場合はマフラー等の高温部が完全に冷却した後で行なって下さい。
- 定地作業の場合等にブーリやベルトに手等が触れる恐れがない様に周囲に柵等を設けて下さい。

各部の名称



仕様

本機

本機型式		S R V 35 V	S R V 4 V		
寸法	全長	1410 ~ 1580 mm	1465 ~ 1575 mm		
	全幅	610mm(最少ロータリー カバー幅350mm)	680mm(最少ロータリー カバー幅350mm)		
	全高	770 ~ 1165 mm	850 ~ 1050 mm		
	乾燥重量	104kg (ドラムローターセット)	104kg (ドラムローターセット)		
主クラッチ		ベルトテンション式			
変速段数	L	H	R ₁		
	前進2段	1.2	3.0	0.9	2.8
後進2段		外径400 mmの車輪を使用時 (km/H)			
ロータリー変速	1	2	1	2	3
	r.p.m 200	r.p.m 420	r.p.m 200	r.p.m 420	r.p.m 1740
作業幅	500 mm	600mm			
軌間距離	405~595mm(タイヤ外幅)				
車輪	3*50-7 ゴム車輪	4*00-7 ゴム車輪			
伝導方式	エンジン $\xrightarrow{\text{Vベルト}}$ 主軸 $\xleftarrow{\text{ギヤー}}$ 車軸 $\xleftarrow{\text{ギヤー及チューイン}}$ 耕耘軸				
作業機	ドラムローター、耕耘チューブ、 ハンマードラム、ラセン型、溝掘等				
P T O回転数	600 r.p.m.				

エンジン

エンジン	GM181LN-357	GM220LN-350
型式	空冷4サイクル OHV式	
排気量	181 cc	215 cc
出力/回転数	4.5 Ps/1800 r.p.m 6.0 Ps/2000 r.p.m	5.0 Ps/1800 rpm 7.0 Ps/2000 rpm
重量	18.5 kg	17.5 kg
使用オイル	SAE20#~30#	
起動方式	リコイルスタータ	
点火栓	NGK-BP5ES DENSO W9	
燃料タンク容量	4 ℥	
最少燃料消費率	230 g / ps.Hr	230 g / ps.Hr
使用燃料	無鉛ガソリン	

ドラムローターの組立

ドラムロータの刃の配列は（第1図）のごとく取付けて下さい。刃の取付ボルトは確実に締付けて下さい。なお、少し作業をしてから弛みがないか確かめて下さい。

運転前に!!

1. ミッションオイルの点検（第2図）

ミッションオイルは工場より出荷時に入れてありますが、今一度注油口の蓋を外して確かめて下さい。口元まで入っていない場合は補給して下さい。

ミッションオイルの種類 SAE90#～120#のギヤーオイル

“ 量 3.0 l

“ 交換時期 初回：4～5ヶ月後 / 2回目以後：年1回

2. エンジンオイルの点検（第3図）

エンジンを水平にして正規油面まで補給して下さい。

エンジンオイルの種類 春～秋：SAE30# / 冬：SAE20#

“ 量 0.7 l

3. エアクリーナの手入れ（第4図）（第5図）

オイルバス式ですから運転前に必ずオイル受皿にオイルレベル迄エンジンオイルを入れて下さい。
オイルレベルよりも多く入れると吸入効率が悪くなり、出力が低下します。

4. 各部の点検

運転前に必ず各部のネジのゆるみ、オイル、燃料、タイヤ空気圧等を点検して下さい。

始動時の注意

1. エンジンの始動

エンジンを始動するときは必ず主クラッチを切って下さい。

2. エンジン回転中の厳禁事項

- | | |
|--------------|------------------|
| イ) 燃料補給 | ニ) ロータリの草やゴミの取除き |
| ロ) ベルトカバーの着脱 | ホ) ロータリ刃の交換 |
| ハ) ベルトの調整 | |

各部の操作

1. チェンジレバー

カメの表示部（低速←→後退）…………主クラッチを切らずに直接変速ができます。

ウサギの表示部（高速←→早い後退）…………主クラッチを切ってから操作をして下さい。

2. 安全レバー（第5図）

ハンドルを逆転にして作業をする場合は安全レバーを前方に倒して御使用下さい。

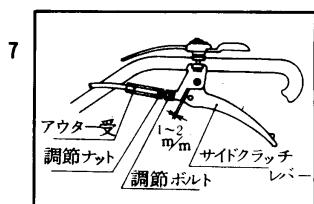
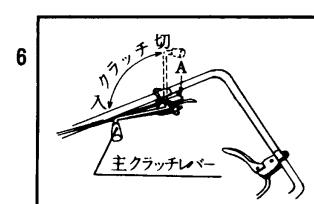
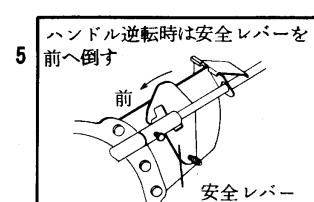
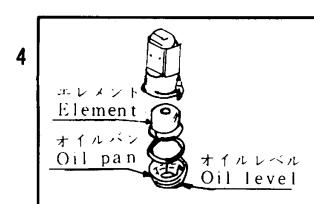
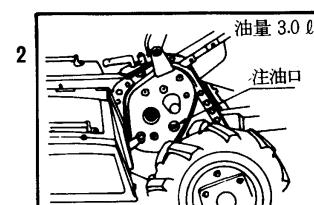
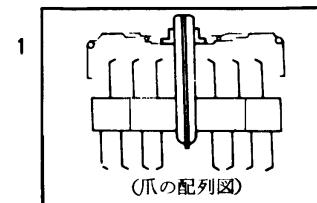
3. 主クラッチレバー（第6図）

レバーを前に倒すとクラッチが入り、手前へ戻すとクラッチが切れます（A部を親指で押してもクラッチが切れます）。エンジンの始動・ロータリ変速・走行変速（カメ表示は除く）の場合は必ず主クラッチを切って下さい。

4. サイドクラッチレバー（第7図）

レバーを握るとサイドクラッチが切れ、放すとクラッチが入ります。

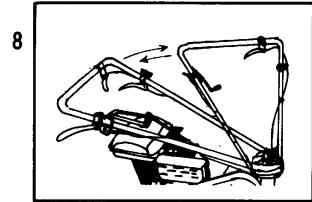
ワイヤーが伸びた場合は調節ナットを緩め、調節ボルトを廻し、アウタ長さを変えて行ないます。
レバーの遊びが1～2mmになる様に調節し、ロックして下さい。



5. ハンドルの調節と使用法（第8図）

ハンドルの上下調節はレバーを握り作業に合った位置で御使用下さい。

” 左右回動はレバーを下方に向押して作業に合った位置で御使用下さい。



6. ロータリーの変速レバー（第9図）

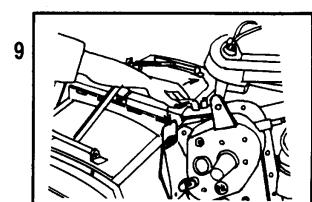
1) SRV35V

ロータリーは作業に合せて（低）（高）の2段で御使用になります。

2) SRV4V

ロータリーは作業に合せて（低）（中）（高）の3段で御使用になります。（高）はハンマーロータ専用です。他の作業機では使用しないで下さい。

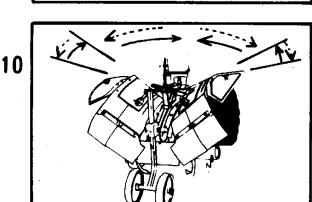
3) レバーの操作は必ず主クラッチを切ってから操作して下さい。



7. ロータリーカバーの調節（第10図）

ロータリーカバーは作業により上下に調節して下さい。土を横に出したい場合や補助カバーが欲しい場合等は側板を開いて御使用下さい。

オプションとして補助カバーも用意しております。

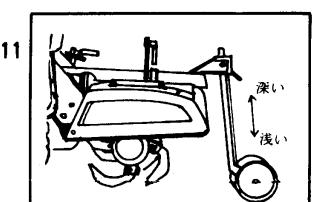


8. 前輪の調節（第11図）

前輪を上下することにより作業深さを変えることができます。

前輪を上げる → 耕深が深い。

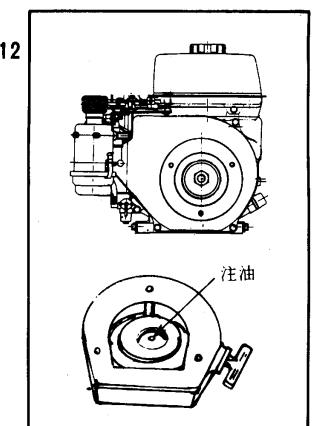
” 下げる → ” 浅い。



手入れと保管

1. リコイルスタータの手入れ（第12図）

ホコリの多い所で長時間使用しますと、リコイルのロープの戻り不良や爪の引掛け不良等が起きることがあります。エンジンからリコイル本体を外し、ガソリン等で内部を洗浄してから中心部の軸にオイルを2~3滴注油して下さい。

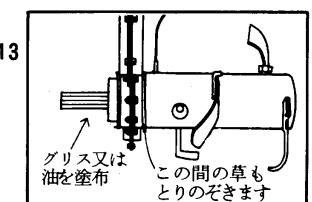


2. ドラムロータの掃除（第13図）

ドラムロータに草が巻付いた場合はチェンジレバーをニュートラルにしてロータリを1~2秒高速回転させると良く取除けます。

ドラムロータを手廻して重い場合は一旦ドラムロータを外し、内側のゴミ等を取り除いて下さい。

取付ける場合はスプラインにグリスまたはオイルを注油して下さい。次に取外す時にサビ付かず容易にできます。

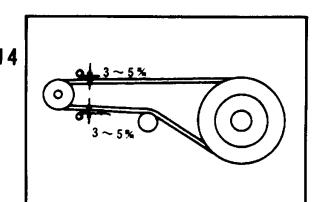


3. ベルトの調節（第14図）

ベルトは耐熱・耐摩耗性の特殊ベルトを使用していますが、メインクラッチを入れ、テンションの張りが弱い時はベルトが伸びていますので、エンジンをずらし調整して下さい。

ベルトを張り過ぎると、クラッチを切ってもベルトが止まらず危険です。ベルト押えをベルトとのすきま3~5mmに調整し、確実にベルトが止まるようにして下さい。

保管中は主クラッチを切っておいて下さい。



4. 運転後の注意

作業が終り保管する場合は、ロータリーカバーやドラムロータ、その他をきれいに掃除して保管して下さい。

主クラッチワイヤの調整・ベルトの引張り調整はほとんど必要ありませんが、下記部分に年1度注油して下さい。

イ) ワイヤー類

ロ) 主クラッチレバー軸やテンションアーム等の可動部

ハ) 車軸・耕耘軸・PTO軸

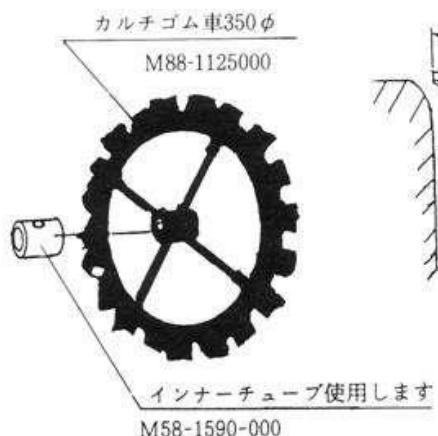
エンジンについては、エンジンの取扱説明書を参照して下さい。

各種アタッチメントと作業方法

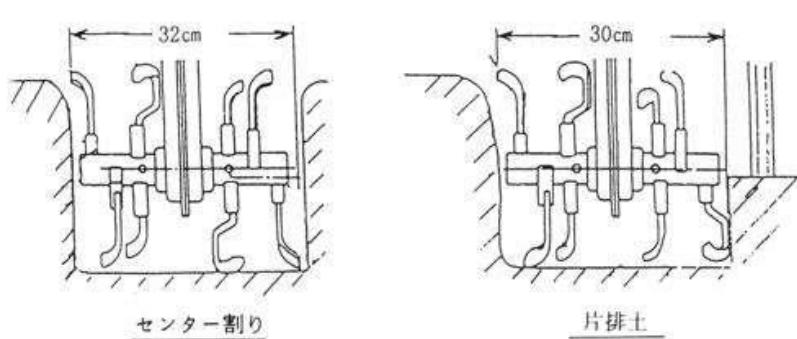
1) 溝掘セット30B [註] 本品ハ特ニイチゴ、ハウスの床作りニ最適

溝掘作業はドラムローターを外して、溝掘刃受30をセット、タイヤを外して、カルチ車輪をセット、カバーをV形にすることで溝掘作業ができます。（イチゴの床作り、ハウス内の床作り等）又、支柱際やハウス際で片寄せの場合も刃受の交換で簡単に片排土ができます。溝掘刃受は45cm幅まで掘っています。

(第19図)



(第20図)



C-01. 1542-001

溝掘セット仕組

S R V 4 V 用31A	コードNo	CO 1 - 1505002
" 31B	" Na	CO 1 - 1506002
S R V 4 V X 用34cm	" Na	CO 1 - 1555000

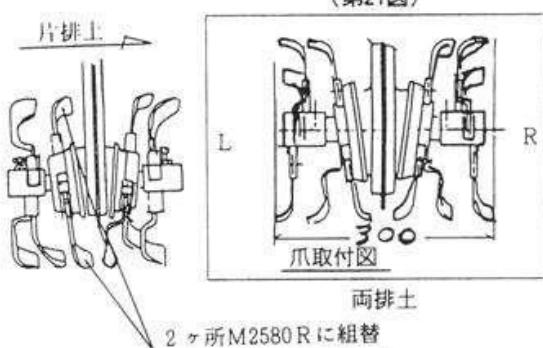
2) 溝掘セット30E [クロスセンター用]

クロス部1カ所は内向き、曲り爪と1カ所は外向きにセット。刃受は外曲りにセットします。（第21図）

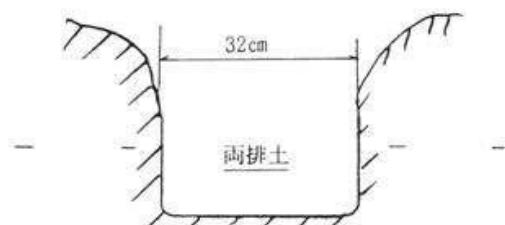
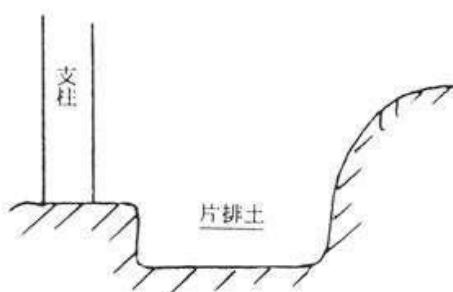
片排土作業時

片側の刃受ノミ交換し、クロス部の2カ所の刃を図の如く取替えます。

(第21図)



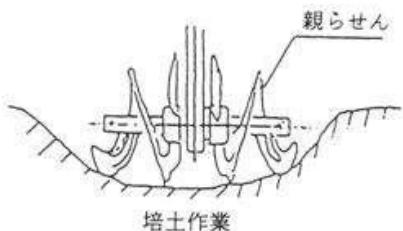
2ヶ所 M2580R に組替



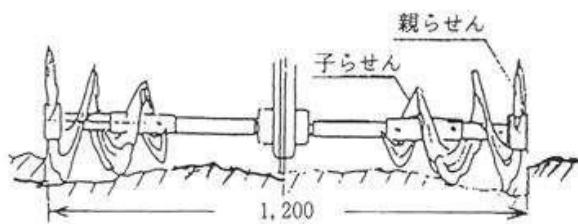
3) らせん犁による培土と溝の埋戻し

桑園の管理、果樹園等の幅の広い畦間の助走培土時は、らせん犁（親）を使用します。らせんチューブを取り付け、らせん犁をセットします。らせん犁は回転方向が決まっていますので方向に注意して下さい。

堆肥等を入れた後の堆戻しは、らせん犁の〔親・子〕を使用、左右を入替えて使用します。



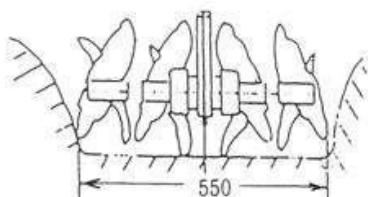
らせん犁（親子）コードNo.C47-1502-000



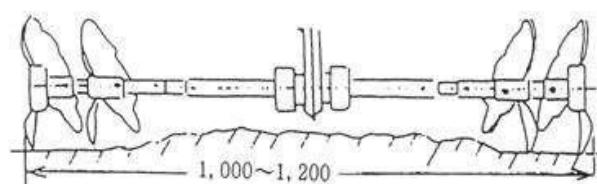
S R V 4 V用らせんチューブ C47-1502000
S R V 4 V X用らせんチューブ C47-2502000

4) デスクローターによる畦作り

キュウリ、メロン、スイカ等広幅溝のベッド作りには、デスクローター4連又は6連をセットして作業します。ドラムを外しラセンチューブを取り付けデスクローターをセットして行ないます。埋戻しは延長チューブを追加しデスクローターを左右入替えてセットします。



デスクローター 4速(両排) コードNo.C46-1503-000
溝掘床作り



埋戻し畦崩し

5) S R V 4 F Xデスクローター

ハウス内の床作り作業

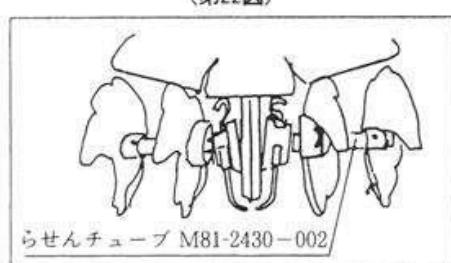
デスクローター2速又は4速セットで床作りが出来ます。クロス刃受部は現状のままでらせんチューブを使用します。（第22図）
チューブは本機専用部品です。

デスクローター2連 コードNo.C46-1002-000

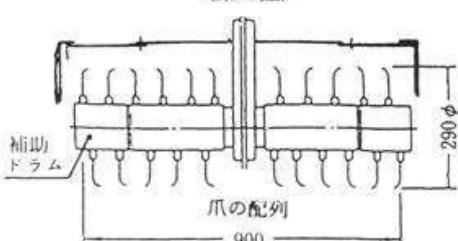
デスクローター4連(両排) コードNo.C46-1003-000

デスクローター2連(片排) コードNo.C46-1004-000

(第22図)



(第23図)



辅助ドラム付の場合

6) 中耕、除草、補助ドラムと延長カバー

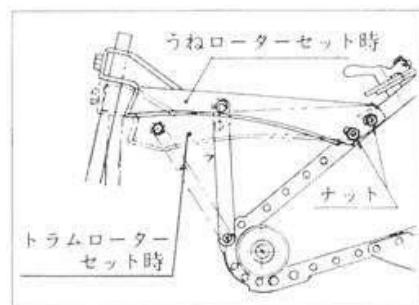
本機の標準装備はドラムローターで50cm幅です。逆転自走で雑草の中でも巻付が少なく、草を押込み表面に細かい土をかけて天地替えして行きますので、草の伸びが抑えられます。補助ドラムと補助カバーを追加することにより条件によって80cm幅で作業が行え大変能率的です。補助カバーは本体カバーと側板の間に入れる様に組付けます。

7) うね立、マルチセット

本機にうねローター、成形器、マルチをセットするとうね立て同時マルチ作業が出来ます。詳しい事は御購入先の農協、販売店又は弊社営業所に照合せ下さい。

うねローター及び成形器をセットの場合は、ロータリービームの角度を変更（ビームアップ）が必要です。カマボコ畦を作るために成形器の取付上、高さが必要なためです。

2ヶ所のナットを弛めてステーの取付位置を変えることによりビームアップ出来ます。



	うね形状・寸法(単位mm)	ロータ	整形器	(組合せ)マルチ
高 う ね		A型ハイローター	A-2型整形器 樹脂つき整形器です。	ハイマルチ・R5S型
高 う ね		B2型ハイローター(タバコ向)	B-2型整形器 樹脂つき整形器です。	ハイマルチ・R5S型
平 高 う ね		平高うねローター E-15 E-18	平高うね整形器 E-15 E-18 樹脂つき整形器です。	ハイマルチ・R7型
平 う ね		平うねローター F-12 F-15 F-18	平うね整形マルチ F-12 F-15 F-18 樹脂つき整形器です。	※平うね整形マルチ(F型)にはマルチが組込みになっています。